

福井県ブランド戦略

令和 6 年 3 月
福 井 県

1 策定趣旨と位置づけ

1 策定趣旨

- ・地域ブランド化とは、
 - (1) 地域発の商品・サービスのブランド化
 - (2) 地域イメージのブランド化を結びつけ、好循環を生み出し、地域外の資金・人材を呼び込むという持続的な地域経済の活性化を図ることと定義されている。(経済産業省)
- ・本県では、恐竜や越前がに、永平寺、東尋坊に加え、教育や子育てなど、上記(1)の個別のサービスや商品のブランド化を積極的に進めてきたが、これらの地域資源から連想される上記(2)の地域のイメージは、全国都道府県魅力度ランキングで30位代後半を推移するなど、評価に至っていない。
- ・また、県民アンケートにおいても、「自分の住んでいる地域を自信を持っておすすめできるか」という点では、一定の評価にとどまっている。
- ・こうした中、2024年3月に北陸新幹線敦賀開業を迎え、その効果を持続化、最大化していくためには、福井の良さを県民自らが再発見し、県内外に発信していくことにより、福井県のイメージアップ、福井ファンの拡大、さらには福井をフィールドに活躍するプレイヤーを呼び込むことにつなげていく必要がある。
- ・このため、「福井県ブランド戦略」を策定し、本県のブランド確立の方向性を示す。

2 位置づけ

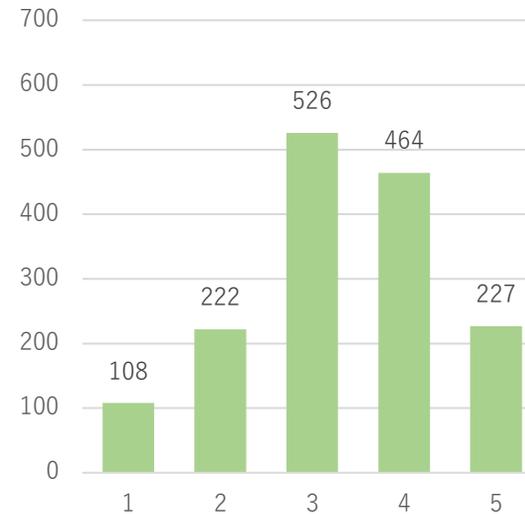
- ・地域ブランドとは、時間をかけて「県民のポジティブな共感＝外からのイメージ」を見つけていくプロセスである。ポジティブな地域イメージを形成するためには、県民が福井の良さを認識し、自信をもって県内外とのコミュニケーションを図っていくことが重要である。そのため、この戦略は、コミュニケーションを図るうえでの、軸となる考え方を示すものとする。
- ・また、長期ビジョンにおいて定めた、2040年に福井県が目指す3つの姿のうち、「自信と誇りのふくい」の実現に向けた新たなプロジェクトとして、「福井県ブランド戦略」に基づく活動を全県的に展開し、地域ブランドの確立を図る。

2 本県の現状

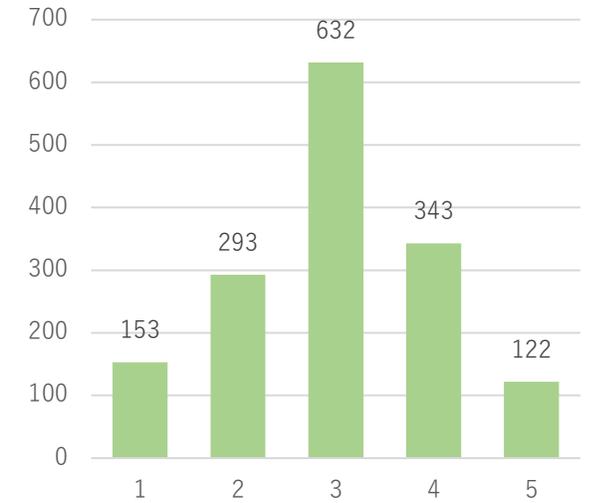
1 県民の評価 (令和5年度県民アンケート)

- ・「住んでいる地域に愛着や誇りをもてるか」の問に対し、4点以上の高評価は44.7%
- ・一方で、「住んでいる地域を県外の方に自信をもっておすすめできるか」の問いに対しては、4点以上の評価は30.1%にとどまっている。

(地域への愛着・誇りの有無)



(自信をもったPR)



2 県外からの評価 (幸福度ランキング他)

- ・都道府県幸福度ランキングにおいて、5回連続1位を獲得しており、特に「仕事」、「教育」、「生活」の分野で高く評価されている。
- ・県外居住者の本県へのイメージでは、食品は越前がに、食品以外は眼鏡のイメージが強い (R5年ブランド研究所調査)
- ・観光地の来訪意欲は、東尋坊、恐竜博物館、永平寺の順に高い (R5年ブランド研究所調査)

3 本県の地域資源

- ・本県の地域資源を分類すると、1000年以上の歴史性を持ち、生活文化や産業に関連する資源が多くなっている。
- ・また、「幸福度日本一」や「ふく育」など、くらしや子育て環境の良さも本県の重要な地域価値である。
- ・さらに、音楽フェスや若者のチャレンジ応援、伝統工芸等を生かしたイベントなど、新たな文化創造につながる県民主体の活動も広がってきている。



(福井県ブランドハンドブックから一部抽出し編集)

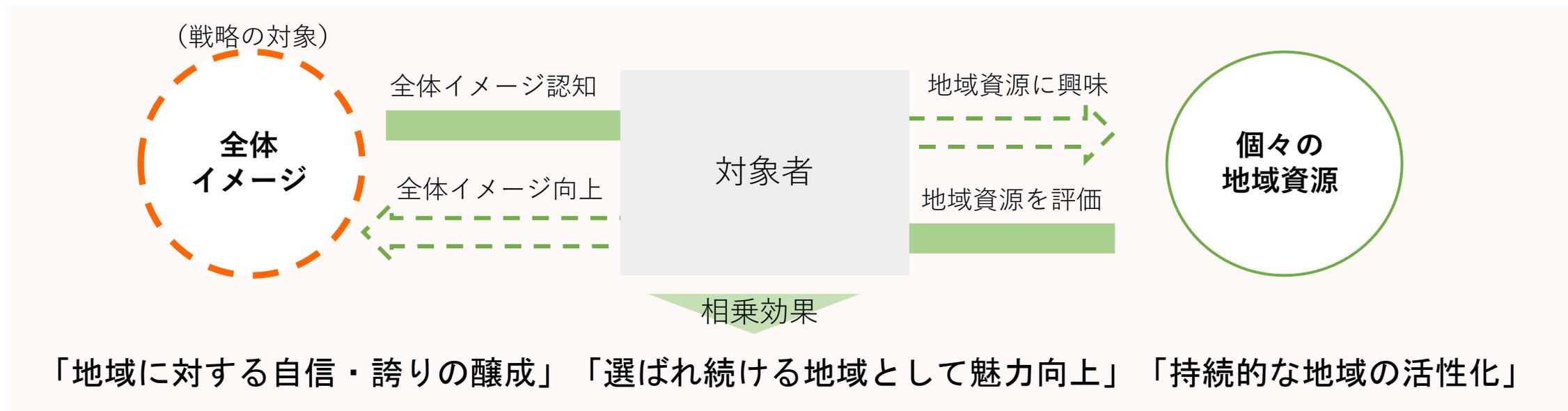
4 戦略の目的

1 定義

この戦略が対象とする「福井ブランド」とは、本県の観光地や特産品のみならず、本県のくらし、県民性、歴史、文化、自然、産業などの地域資源から連想される「イメージの総体」のことをいう。

2 戦略の目的

- ①福井県に関係するすべての人々に、地域の良さを再認識してもらい「地域に対する自信・誇りの醸成」を図ること
- ②福井県の県内外での認知・評価を高めることにより、「選ばれ続ける地域として魅力向上」を図ること
- ③地域全体のイメージづくりとの相乗効果により、地域資源の価値を高め、「持続的な地域の活性化」を図ること



5 活動方針

1 考え方

- ・本県の本質的な価値として、伝統工芸をはじめ1000年以上の歴史を有する地域資源が豊富であることや、幸福度日本一と評される生活環境の良さなどがあげられる。さらに最近では、音楽フェスや若者チャレンジなど県民主体の主体的な活動やまちづくりの動きが活発化してきている。北陸新幹線開業を迎えるこのタイミングが、県民チャレンジをさらに拡大し、県内外に本県のポジティブイメージを発信する絶好の機会である。
- ・長期ビジョンでも示した「千年文化」を軸に、福井県の良さを深掘りしたり、新たな価値を見出していく活動を共有することにより、「福井がいま、おもしろい！」という前向きで明るい地域イメージを形成する。
- ・なお、他県との差別化（福井と言えば〇〇）はこれまでも「恐竜」を中心に進んでおり、今後も継続する。

2 活動方針（⇒ 活動を重ね、新たな地域イメージを形成）

『千年文化』を未来へ

1500年の歴史を持つ伝統工芸をはじめとするふくい「千年文化」。
先人が進取の精神で知恵と工夫を積み重ね、今に続く唯一無二の文化を生み出した。
ふくい「歴史、文化、自然、産業、そして日本一のくらしの良さ」。
さまざまに変化しながら連綿と紡がれた、これらの素晴らしい価値を未来につなげていく。
そして、今を生きるわたしたちも、新たな挑戦を続けていこう。
いま始めた挑戦が次世代に受け継がれ、10年、100年、そして1000年続く新たな文化になることを願って。

6 活動の内容

1 活動の内容

(1) つなぐ（千年文化を未来につなぐ）

ふくい千年文化、なぜ福井で続き、どんな価値があるのか、みんなで見つめ直し、未来につないでいく。

(2) 創る（千年未来に続く文化をつくる）

ふくいの良さを生かし、今後1000年続くような、福井の新たな文化を自ら創っていく。

2 具体的なプロジェクト（R5～6年度 試行）

(1) ふくい最高プロジェクト（R5～）

県民が福井の「最高」を見つけ出し、共有することで、地域に対する自信と誇りを醸成

- ・「福井の良さ」を若者が語り、外に向かって発信する「福井最高会議」実施
アイデアをもとに、県内外者のコミュニケーションボードを福井駅に設置（R6.3～）
- ・インスタに投稿された写真をもとに、県民が取材し、ブランドハンドブックを作成（R6.3）

(2) 県民と県内外クリエイターによる実験的プロジェクト（R6～）

県内外のクリエイターと連携し、県民が参加した実験的なプロジェクトを実施

千年文化を未来へ ～つなぐ・創る～

若者を中心に、「オープンで面白い」プロジェクトを実施

福井県民

国内外の人

千年続く
福井のよさ
福井らしさ

理解
共感

参加
実践

自信
ふくい
ファン

伝える

認知
関心

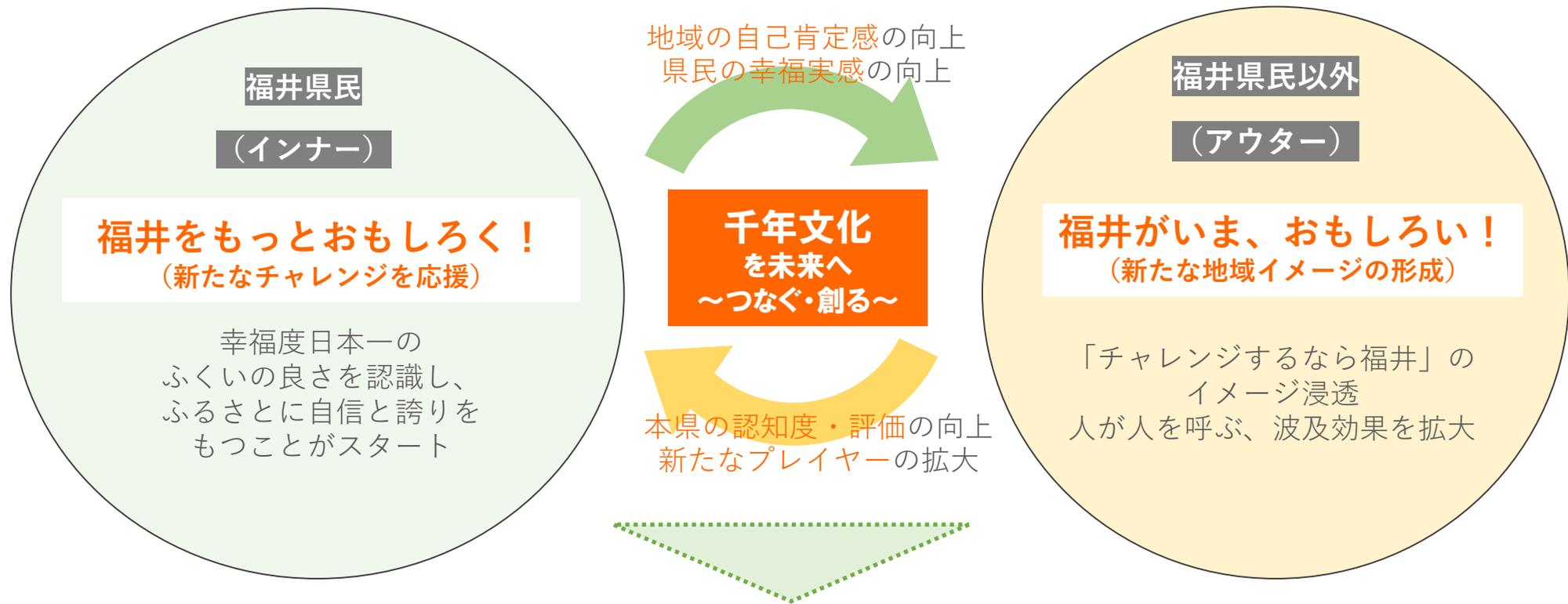
参加
感動

愛着
ふくい
ファン

次の
千年

7 戦略イメージ図

- 「千年文化」を軸に、福井の良さを語り、学ぶ、参加型プロジェクトを実施
(福井に受け継がれる良さは何か、それをどうつなぐか、そして新たな文化や誇りをどう創っていくか)
- プロジェクトを通じ、県民同士、県民と県外・国外在住者とのコミュニケーションを活発化
- コミュニケーションによる変化を楽しみながら、時間をかけて、福井の新しいイメージを形成



長期ビジョン「**自信と誇りのふくい**」の実現

8 事業体系図

福井をもっとおもしろく！

福井の良さを再認識

幸福度日本一を支える県内の人、モノ、コトを県民が共有し、「福井には〇〇がある」と福井の良さを再認識

- ・県民自らが福井の良さを発信するふくい最高！プロジェクト など

県民のチャレンジ応援

県民の自発的な挑戦を徹底的に応援し、夢がかなう社会を実現

- ・県民自身がやりたいことをプレゼンし、実現する県民ワクワクチャレンジ など

福井がいま、おもしろい！

「挑戦するなら福井」の実現

民間企業と協働して地域課題の解決や地域開発を推進するなど、「チャレンジフィールド福井」のイメージ形成

- ・民間企業の自由な提案と先進技術で地域の新たな魅力エリア開発を図るプロジェクト など

クリエイター等と連携促進

クリエイターの企画発案による先進的なプロジェクトを実施、県内外の交流を促進

- ・クリエイター目線で、福井の良さを新たに発見・発信する実験的プロジェクト など
(先行事例) RENEW、千年未来工藝祭

長期ビジョン「自信と誇りのふくい」の実現

千年文化の学び・発信

先人が積み重ねてきた唯一無二の千年文化を学び、発信

- ・アーティスト目線で福井の良さや文化を発見、アート作品として発信（アーティスト・イン・レジデンス）
- ・福井の風土として根付いた日本遺産のPR（石かたり、北前船、熊川宿など）
- ・千年文化を象徴する伝統工芸品を、県外デザイナーと連携し新商品開発・PR（F-TRAD） など

(参考) 他県の状況

- ・2006年に「地域団体商標制度」が導入されたことに伴い、地域特産品を「地域ブランド」（地域名＋商品・サービス名）として振興を図る取り組みが多数
- ・一方で、地域全体のイメージ浸透を図る自治体も近年みられ、「しあわせ」「寿司」といったキーワードによる差別化（長野、富山等）や、地域の良さを県民に共有しファンを拡大（山梨、広島等）する方法がある。

県名	目指すイメージ	目的	活動内容
長野県 (2013～)	しあわせ信州 	<ul style="list-style-type: none"> ・「信州」に寄せる思いや県民性を再確認し、<u>県民に自信と一体感醸成</u> ・「<u>信州の魅力</u>」の国内外への発信 ・<u>地域全体と個々のブランドとの相乗効果</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の信州ブランド化支援 ・首都圏に「しあわせ信州シェアスペース」 ・県民運動展開「掘り起こそう、足元の価値。伝えよう信州から世界へ」
山梨県 (2022～)	ハイクオリティ山梨	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>県民一人ひとりが幸せを実感</u>できること ・「自然景観」「環境文化」「食」だけでなく、<u>生活と密接にかかわる「医療」「教育」</u>など、環境を質の高いものとする 	例) 農業分野において <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化の抑制 (4P-マイルインシアチブ) ・家畜に優しい畜産 (アニマルウェルフェア) など
広島県 (2022～)		<ul style="list-style-type: none"> ・<u>広島の良さを再認識し、誇り、自慢しながらより良い広島をみんなで創っていく</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひろしま観光大使100万人プロジェクト ・県民投稿サイト「日刊わしら」でディープに語る ・公式インスタ「ええじゃろ広島」
富山県 (2023～)	寿司と言えば富山	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>寿司をフックに「ウェルビーイング先進地・富山」の認知度向上</u> (雄大な自然、豊かな食文化・美食など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・トップシェフと寿司職人の共創 県産食材を生かしたメニュー開発 著名シェフを招待したイベント

※その他、プロモーションとして「晴れの国 岡山」「火の国 くまもと」「うどん県」(香川)「おんせん県」(大分)などの事例あり

(参考) 福井県長期ビジョンとの関係① (自信と誇り)

1 福井県長期ビジョン (2020→2040)

- ・本県では、令和2年に県民5000人参加のもと、2040年の将来像を「福井県長期ビジョン」として策定しており、この戦略についても、長期ビジョンに定める「基本理念」や「目指す姿」の達成を目指すためのものとする。

2 自信と誇りのふくい

- ・ビジョンでは、福井県が目指す将来像として「自信と誇りのふくい」「誰もが主役のふくい」「飛躍するふくい」の3つの姿を想定
- ・特に、「自信と誇りのふくい」において、「くらしの積み重ねの中で受け継いできた人々の営み、支えないなどの精神性、自然風土や歴史性、地域社会のつながり、農林水産業をはじめとする産業力など、すべてが「ふくいらしさ」であり、「文化力」」と記載されている。
- ・「ふくいらしさ」を伸ばし、外に開いて人を呼び込む。本ブランド戦略は、「自信と誇りのふくい」を実現するための活動方針となる。



自信と誇りのふくい

「ふくいらしさ」を大切に。
県民が誇りをもって暮らすことにより、
さらに多くの人を呼び込む「ふくい」

「ふくいらしさ」を伸ばし、外に開いて人を呼び込む。

[方向性]
くらしの積み重ねの中で受け継いできた人々の営み、支え合いなどの精神性、自然風土や歴史性、地域社会のつながり、農林水産業をはじめとする産業力など、すべてが「ふくいらしさ」であり「文化力」。こうした資産を守り、価値を高め、「選ばれるふくい」を築きます。

(参考) 福井県長期ビジョンとの関係② (千年文化)

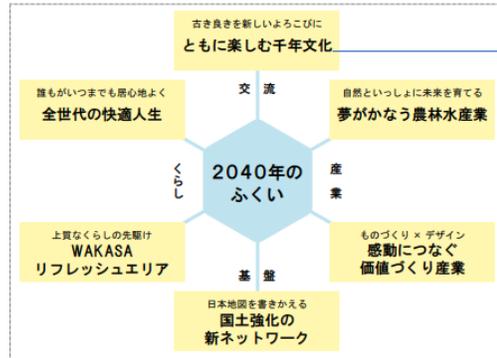
1 古き良きを新しいよろこびに「ともに楽しむ千年文化」

- ・長期ビジョンでは、「しあわせ先進モデル 活力人口100万人ふくい」を基本目標とし、実現にむけ、6つの将来イメージを県民と共有し、4つの長期プロジェクトの推進を掲げている。
- ・このうち、「千年文化の継承発展プロジェクト」では、「千年を超える歴史・文化やオンリーワンの魅力に磨きをかけ、「交流」と「楽しさ」を大きく広げる。」と記載されている。
- ・本県の特長である「千年文化」の価値を改めて認識し、県民主体の新たな活動を広げ、次世代につなぐ「新たな千年文化」を創造していく。

【基本目標】

しあわせ先進モデル 活力人口100万人ふくい

【ふくいの将来イメージ】

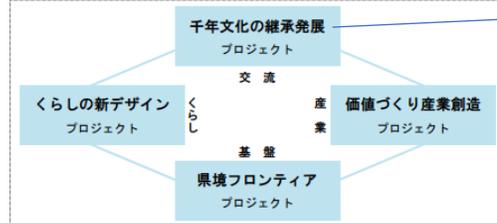


【2040年のふくい②】

古き良きを新しいよろこびに ともに楽しむ千年文化

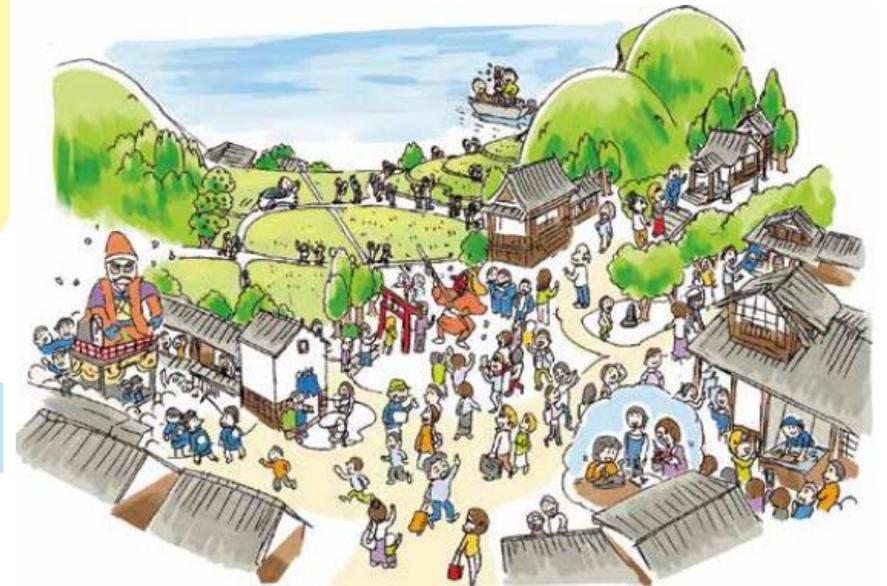
1500年の歴史を誇る伝統工芸をはじめ悠久の歴史に育まれたくらしや文化、自然風土など、福井の「千年文化」が継承され、オンリーワンの魅力に、国内外から多くの人々が惹きつけられ往来する一大交流地

【2040年に向けた長期プロジェクト】



2 千年文化の継承発展プロジェクト

千年を超える歴史・文化やオンリーワンの魅力に磨きをかけ、「交流」と「楽しさ」を大きく広げる



SUPER 超 千年文化

- ・恐竜……約2億3千万年
- ・年縞……約7万年

LIVE 現 千年文化

【寺社仏閣】

- ・劔神社……約1800年
- ・足羽神社……約1500年
- ・気比神宮……約1300年
- ・羽賀寺……約1300年
- ・白山平泉寺……約1300年
- ・賀茂神社……約1300年
- ・長泉寺……約1300年
- ・明通寺……約1200年

【産 業】

- ・越前和紙……約1500年
- ・越前漆器……約1500年
- ・笏谷石……約1500年
- ・若狭めのう……約1300年
- ・繊維……約1300年
- ・越前焼……約850年

【伝統芸能・祭り等】

- ・越前万歳……約1500年
- ・お水送り……約1300年
- ・お米送り……約1300年
- ・糸崎の仏舞……約1200年

【歴 史】

- ・継体大王……約1500年
- ・御食国・鯖街道……約1500年
- ・泰澄大師……約1300年
- ・源氏物語(紫式部)……約1000年

NEXT 次 千年文化

【寺社仏閣・城・遺跡】

- ・永平寺(道元禅師)……約780年
- ・朝倉氏遺跡……約550年
- ・丸岡城……約450年
- ・福井城址……約420年
(結城秀康、松平春嶽)

【伝統芸能・祭り等】

- ・王の舞……約800年
- ・敦賀西町の綱引き……約400年
- ・日向水中綱引き……約400年
- ・七間朝市……約400年
- ・放生祭(小浜)……約380年
- ・左義長祭り(勝山)……約300年

【産 業】

- ・越前打刃物……約700年
- ・越前そば……約550年
- ・若狭塗……約400年
- ・越前箆笥……約200年
- ・越前和蠟燭……約150年
- ・めがね……約120年
- ・越前竹人形……約70年
- ・油団……約70年
- ・コシヒカリ……約70年
(農業試験場)

【その他】

- ・立志式(橋本左内)……約180年
- ・食育(石塚左玄)……約120年

CREATE 創 千年文化

- ・野外音楽フェス (ワンパークフェスなど)
- ・体験型産業観光 (RENEW、千年未来工芸祭、めがねフェスなど)
- ・滞在型学生キャンプ (各アートキャンプ)
- ・チャレンジ応援 (ワクチャレ、JETS、いちほまれ、福井ベンチャーピッチなど)
- ・暮らしの質の高さ (幸福度日本一、ふく育県)